

学校法人熊本城北学園平成 27 年度決算概要

学校法人熊本城北学園の平成 27 年度決算は、平成 28 年 5 月 26 日に開催された理事会及び評議員会において承認されました。

ここでは、企業会計における損益計算書に相当する事業活動収支計算書及び財政状態を表す貸借対照表をもとに、平成 27 年度決算の概要についてご報告致します。

1. 事業活動収支計算書

(1) 教育活動収支の部（本業である教育活動における収支）

教育活動収入は前年比 3,991 万円減少して 21 億 2,742 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ① 学生生徒等納付金…在籍学生数の減少により、前年比 7,314 万円減少しました。
- ② 手数料…入学検定料収入の減少等により、前年比 120 万円減少しました。
- ③ 経常費等補助金…私立大学等経常費補助金（一般・特別）の増加及び中小企業経営支援等対策費補助金 904 万円を新たに獲得したこと等により、前年比 2,073 万円増加しました。
- ④ 付随事業収入…教育宿泊棟利用者の減少等により、前年比 471 万円減少しました。
- ⑤ 雑収入…私立大学退職金財団交付金の増加等により、前年比 2,206 万円増加しました。

教育活動支出は、前年比 4,193 万円増加して 21 億 9,936 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ① 人件費…職員人件費、退職給与引当金繰入額の増加等により、前年比 67 万円増加しました。
- ② 教育研究経費…消耗品費、賃借料、業務委託費等の増加により、前年比 159 万円増加しました。
- ③ 管理経費…消耗品費、修繕費、減価償却費等の増加により、前年比 4,319 万円増加しました。

⇒教育活動収入から教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は、前年比 8,184 万円減の 7,195 万円の支出超過となりました。

(2) 教育活動外収支の部（財務活動における収支）

教育活動外収入は、前年比 11 万円減少して 1,236 万円となりました。

教育活動外支出はありません。

⇒教育活動外収入から教育活動外支出を差し引いた教育活動外収支差額は、前年比 11 万円減少して 1,236 万円となりました

⇒教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は、前年比 8,195 万円減少して 5,959 万円の支出超過となりました。

(3) 特別収支の部（資産の売却・処分等の臨時的な収支）

特別収入は、前年比 5,809 万円減少して 1,711 万円となりました。（前年度は空調・照明機器の更新に係る国からの補助金 6,343 万円を計上しています。）

特別支出は、教育研究用機器備品の処分に伴い 37 万円が計上されています。

⇒特別収入から特別支出を差し引いた特別収支差額は、前年比 5,845 万円減少して 1,674 万円となりました。

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額は、前年比 1 億 4,040 万円減少して 4,285 万円の支出超過、基本金 2 億 889 万円を組み入れた後の当年度の最終的な収支差額は、前年度より 3 億 4,929 万円減少して 2 億 5,174 万円の支出超過となりました。

この当年度収支差額に前年度繰越収支差額 8 億 1,825 万円を加えた 5 億 6,651 万円が、翌年度繰越収支差額（累積黒字）となります。

2. 貸借対照表

(1) 資産の部

資産総額は、前年比 1 億 4,390 万円減少して 98 億 27 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

①固定資産…前年比 2 億 4,868 万円減少しました。

④有形固定資産…償却資産の償却進行等により前年比 1 億 3,273 万円減少しました。

⑤特定資産…退職給与引当特定資産を 4,000 万円、奨学資金引当特定資産を 2 億円積み増したこと等により、前年比 2 億 4,000 万円増加しました。

⑥その他の固定資産…満期まで 1 年以内となった長期性定期預金 3 億 4,000 万円を流動資産（現金預金）へ科目振替したこと等により、前年比 3 億 5,598 万円減少しました。

②流動資産…上記、長期性定期預金の科目振替等により、前年比 1 億 478 万円増加しました。

(2) 負債の部

負債総額は、前年比 1 億 105 万円減少して 9 億 5,322 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

①固定負債…退職給与引当金の増加により、前年比 1,852 万円増加しました。

②流動負債…未払金の減少等により、前年比 1 億 1,957 万円減少しました。

(3) 純資産の部

純資産額は、前年比 4,285 万円減少して 88 億 4,705 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

①基本金…第 1 号基本金への組入により、前年比 2 億 889 万円増加しました。

②繰越収支差額…前年比 2 億 5,174 万円減少しました。

以上の結果、負債及び純資産の部合計は、前年比 1 億 4,390 万円減少して 98 億 27 万円となりました。なお、減価償却の累計額は、前年比 2 億 2,177 万円増加して 36 億 1,816 万円となっています。

以 上